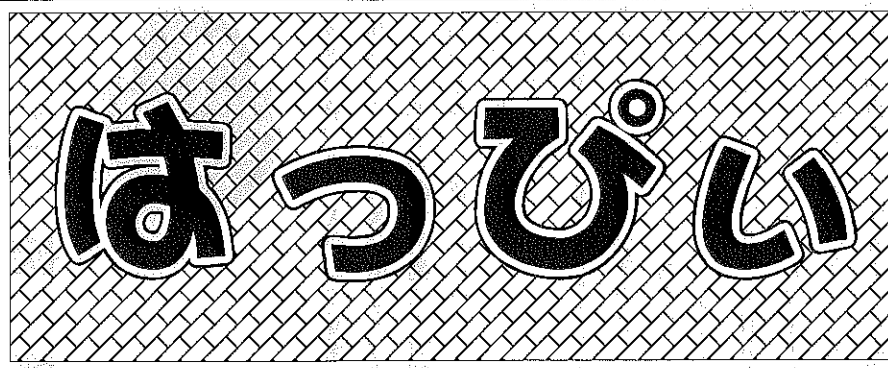




第 82 号

編集・発行
白山高等学校PTA印刷
伊藤印刷株式会社

2026. 7

ご挨拶



PTA会長 野田 年延

令和七年度より引き続き令和八年度PTA会長を務めさせて頂く野田年延と申します。

先日はPTA総会での承認を私事で会長不在と言う中滞りなく開催、役員承認頂いた事、誠にありがとうございます。

新年度を迎え早三ヶ月が経ち新入生達も白山高校に馴染んできた頃かと思えます。環境が変わり、始めは不安の多かったであろう生徒達も六月初に開催された体育祭を観て、皆で力を合わせ一所懸命に取り組んでいる姿をみて安堵しました。上級生徒の容赦ないパワーに若干の大人気の無さを感じましたが…笑。

新年度から早三ヶ月、私事で恐縮ですが息子がこの高校に入学して気がつけばもう三年生。息子は野球部で一年の時からほぼ毎週試合を観に行き遠征にも同行していました。それだけ観てきても今振り返るとあつと言う間です。最後の夏…悔いのな

いよう仲間と共にやり切つてほしいと願うばかりです。子の成長は早いと言いますがほんとに早いです。新入生保護者のみなさんほんとに高校生活あつと言う間です！自分のお子さんとの時間、何気ない日常日々の生活を大切に過ごしてあげて下さい。

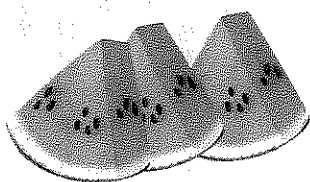
さて我が子達が通うこの三重県立白山高等学校ですが、全校生徒一七〇人程度と他校と比較してもかなり人数の少ない高校となっています。規模は小さいですが息子の入学当時からはPTAに携わっていて感じたことは、地域の皆様と密接な繋がりがあつた地元感や、少ないからこそ先生方が寄り添って学力だけではなく自立に向けた指導を行なっていただけ環境であること。イベントごとに学年関係なくふれあえるフレンド感といった小さいながらもあつた印象です。どれもPTAに携わつて実感できたことで、皆とふれあえることに感謝しています。これから

もPTAとしてまた「いち」保護者としてみんなと楽しめるように、イベント等思いっきりはしゃぎたいと思つてます！

イベントといえばPTAの醍醐味！一〇月に行われる予定の文化祭ですが、今年は装いを新たに先生方を巻き込んで生徒達と一緒に楽しめるような催しを考えていますので、皆様是非ご来場下さい。

最後になりますが、PTAはすべて我が子達の通う学校の安心、安全、心身向上、何より白山高校に入つて良かった楽しい！と思つてもらえるような活動をして行けたらと思っていますので、今後とも皆様のご理解とお力添えを賜りたくお願いして挨拶とかえさせて頂きます。

一年間どうぞよろしくお願い致します。



ご挨拶



校長 伊藤 毅

盛夏の候、PTA会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度も、生徒のみなさんには、「高校生活の目標は、『自立した大人』に近づくこと」という話をしていきます。「自立」の三要素といわれる「経済の自立」「精神の自立」「信用の獲得」のうち、高校生の間は完全な経済的自立はかなわないとしても、精神面での自立や、他者からの信用を獲得することについては、毎日の高校生活の中で実践し、高めていくことができます。そのために、『授業を大切に』して『考える習慣』を身につけようと伝えています。不確実性や流動性の高い社会を生きていく生徒の皆さんにとって、日々の学びを着実に積み重ねていくことが大切な礎となると信じ、学校教育活動を計

画、展開しています。

本校は、「地域を愛する若者を育成し、地域の活性化に貢献する」ことを最上位の目標に掲げ、保護者、地域住民、さらに有識者の方々といった関係者から教育計画や学校運営に関してご意見やご助言をいただく「学校運営協議会」を設置する「コミュニティスクール」です。そのうえで「地域こそ学びの場」であると考え、地域の方々との交流を深め、体験的な学習の機会を提供していただいていることはまさに本校の教育活動の柱であり伝統です。今年度も白山地域を中心に、さまざまな施設、事業所様にお世話になり、生徒の学びを支えていただいています。また、高校生の柔軟な発想と行動力で、地域の活性化や課題解決のお手伝いができるような企画も展開する予定です。

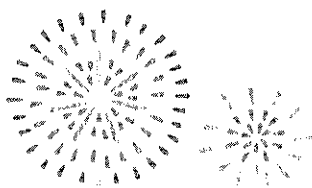
さらに今年度は、三重県教育委員会が主導する「生徒の自己肯定感を

涵養する授業づくり支援事業」の実践モデル校の指定を受けています。「わかる↓できる↓楽しい↓もっと学びたい」という学習サイクルや、誰もが安全で安心に学ぶことができる学習環境を作るといった、白山高校版ユニバーサルデザイン授業の構築や、SST（ソーシャルスキルトレーニング）、地域課題解決型学習、就労体験など総合的な探究の時間を中心とした取組を通じて、生徒一人ひとりが、かけがえのない自分自身の存在と可能性を大切に育む心の育成に注力します。

日々の活動に頑張っている生徒の皆さんと同様に、本校の教職員も「チーム白山」を合言葉に日々の業務に真摯に取り組んでいます。一方で、子どもたちのために教職員がより良い環境で働くことができるよう、業務の効率化や勤務時間の縮減など働き方の見直しも進めています。教職員が安心、安全に職務に励むことができる環境や体制を維持することは、生徒一人ひとりにより丁寧に向き合い、質の高い教育を提供することにつながります。今年度も引き続き「教職員の働き方改革」にもご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、子どもたちにとって最良の教育活動の展開を目指

すうえで、白山高校PTAのご理解とご協力は欠かすことができません。子どもたちが「自立した大人」に近づくためのサポートを、学校、地域と一緒に頑張ってまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



各分掌より

教務部

「白山高校の教育」

教務主任 前中 武至

平素は白山高校の様々な教育活動にご理解とご協力を賜りまして厚くお礼を申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。

本校では、学校が取り組む姿勢として「あいさつ・ルール・美化の三つの言葉を核に進める」というのがあります。教務部としても、「一、きちんと挨拶ができる。」「二、時間を守り、身の回りの整理・整頓、掃除などができる。」「三、相手の気持ちを考えて、ルールを守り適切に行動することができる。」の三つの目標を掲げて取り組んでいます。また、卒業後の進路希望をかなえられるように、また、社会人にふさわしい知識や態度の形成のため、三年間の授業を中心とした学習活動をはじめ、部活動、生徒会活動などいろいろな活動を通して進めています。

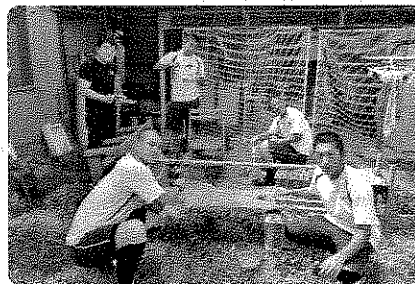
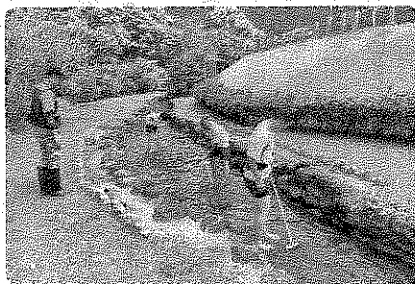
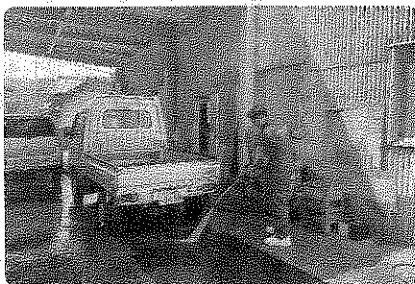
日々の授業の時間を大切に、少

しでも生徒にとってわかりやすい授業ができるよう、「ユニバーサルデザイン」の授業を行うことに力を入れています。また、一年生のほとんどの科目の授業で、クラス・学科を分割した授業、TT（チームティーチング）の授業を行い、きめ細かい指導とともに、落ち着いた授業を受けられる環境づくりを進めており、生徒が安心して授業を受けられるように取り組んでいます。

また、総合的な探究の時間では、本校の教育目標である「地域を愛し、地域の活性化に貢献できる若者の育成」に沿って、各学年で様々な活動を行っています。一年生では、ソーシャルスキルトレーニングを通じて、自らの得意不得意を理解し、集団生活の中での課題への対処方法など学習しています。コミュニケーション能力や自尊感情を育み、自己肯定感の涵養を目指しています。二年生では、「地域課題解決型学習」を主たるテーマに、「ヒト・モノ・シゴト、白山地域の歴史・文化、名松線、安心・安全なまちづくり、農業・食品、人

助け」の五分野に分かれ、それぞれの分野の視点から地域の課題解決や活性化についての活動を行っています。三年生では、地域の事業所の皆さんにご協力をいただき、年間を通してのインターンシップを実施しています。また、面接指導、作文指導にも力を入れ、生徒の希望する進路が実現できるように取り組んでいます。

授業の中身や求められる力が変わり続ける中、ICT機器を活用する授業など、生徒にとってより充実した授業を行えるように、今年度も様々な取組をしているところです。このような学習活動を通して、生徒が成長することを願い、生徒の意欲に応えるためのサポートをさせていただきますので、今後ともご協力をお願いいたします。



授業風景（3年：インターンシップ）

生徒指導部

生徒たちの「生きる力」の育成に向けて

生徒指導主事 諸木 康真

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、私たち生徒指導部では、「社会に出て生きていく力」の基礎を、日々の学校生活の中で育てていくことを大切にしております。そのためには、学力の向上だけでなく、基本的な生活習慣、他者との関わり方、そして物事に対する姿勢が重要であると考えております。

近年では、コミュニケーション力やマナー、自己管理能力などが、社会で求められる力として注目されております。生徒の皆さんが将来、さまざまな場面で自立して判断し、行動できるよう、以下のような点を日頃から指導しております。

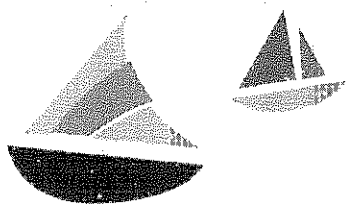
- ①自己管理能力…自分自身をコントロールする能力
- ②自己指導能力…どのような行動が適切であるか自分で考えて、決めて、実行する能力
- ③社会人基礎力…多様な人々と

もに、共感し、協力していくことが出来る能力

これらは、将来どのような職業や立場につくとしても、社会人として必要不可欠な力です。本校では、教職員一同、共通理解のもと、日々の声かけや指導を丁寧に行っております。

ご家庭でも、日々のお子様の様子についてお気づきの点やご不安なことがございましたら、どうぞ遠慮なく学校へご相談ください。

今後とも学校と保護者の皆様とが連携し、子どもたちの健やかな成長を支えてまいりたいと考えております。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



進路指導部

白山高校の進路指導

進路指導主事 塩谷 正雄

令和八年度を迎え、本校進路指導部では、生徒一人ひとりが自らの将来を主体的に考え、社会で活躍できる力を育むための取り組みをさらに充実させています。現代社会の変化に対応するためには、単なる知識の習得にとどまらず、自己理解と職業観の形成が不可欠です。私たちは、生徒が自分の可能性を発見し、将来の選択肢を広げられるよう支援してまいります。

今年度の新たな取り組みとして、体験をテーマに、一学期の中間考査最終日に、二つの企業と自衛隊の方に来校いただいて、様々な体験に挑戦をしました。自衛隊による、手旗信号とロープワークなどを体験しました。また製造業の体験では近年、日本の製造業に手作業で行うはんだごての仕事が戻りつつあるということとで、小さな基盤に様々な部品をはんだで取り付ける作業に挑戦をしました。建設業の体験では、最近では測量をドローンで行うということで、中庭でドローンの操縦体験を行いました。

これらの体験を通して、自分自身にどのような適性があるのか、熱中できるものはどれなのかを考える機会になったと思います。

また、私の授業でも、企業の第三の給料といわれる「福利厚生」について、十一社の企業の方にご協力をいただき発表会を行いました。生徒は、福利厚生を学び、企業のことを調べ、企業ごとに工夫されている法定外福利について学び、まとめて発表を行いました。

その授業の際に、お忙しい中たくさんの方の企業の方が、来校いただき、オンラインでも参加を頂きました。また、何度もスライド作成にも参加を頂き、まさに協働して完成をさせていました。その甲斐もあり、発表会ではどの生徒も真剣に発表に取り組み、大成功をすることができました。進路イベント、授業など折に触れて、様々な体験を行い、その中でも、目指すべき熱い社会人の先輩に激励を頂き、背中を押されて成長する姿が見られました。

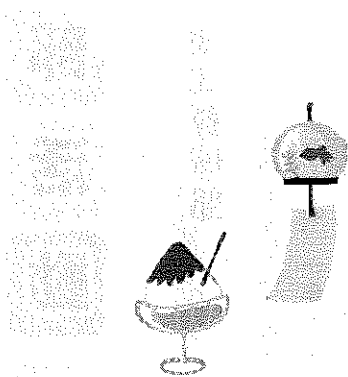
こうした取り組みは、生徒が自分の将来を具体的にイメージし、進路選択に自信を持つための大きな助けとなります。

文部科学省が示す「キャリア教育の充実」にも対応し、学校全体での

取り組みを強化しています。授業だけでなく、学校行事や地域連携活動を通じて、コミュニケーション能力、課題解決力、協働性など、社会で求められる力を育む機会を提供しています。

私たちの目標は、生徒が卒業後も自ら学び続け、社会に貢献できる人材として成長していくことです。そのため、進路指導部は今後も地域や企業と連携しながら、より良い教育環境の構築に努めてまいります。

保護者の皆様には、日頃より温かいご支援とご理解を賜り、心より感謝申し上げます。今後とも、生徒の未来を共に支えていけるよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



保健部

保健部より

日頃より、お子様の健康管理ならびに本校の保健活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本校の保健室では、健康診断や応急処置、健康相談のほか、「性に関する指導」や「命を大切にする教育」なども実施しております。今年度も引き続き、お子様の様子や状況に寄り添いながら、保健教育を行ってまいります。

また本校はスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拠点校となっております。高校生になると、友人関係や進路への不安、将来へのプレッシャーなど、お子様自身が抱える悩みも複雑になります。家では反発したり、逆に何も話さなくなったりと、お子様との距離感に悩まれている保護者の方も多いのではないのでしょうか。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの面談は、保護者の方もご利用になれます。お子様の気になる様子や心の悩み、また保護者の方ご自身の子育ての悩みにも、相談をお受けいたします。保護者の方がお一人で抱え込まず、少し心を軽くするための場

所として、ぜひご活用ください。専門的な知見をお持ちの各先生方とともに、お子様の学校生活を支援させていただきたいと考えております。二学期最初の来校日はスクールカウンセラーが九月二日（水）を予定しております。面談を希望される場合は、担任または保健室までご連絡ください。今後とも、白山高校保健部の活動に、ご協力よろしくお願いいたします。

図書館

図書館より

（概要）

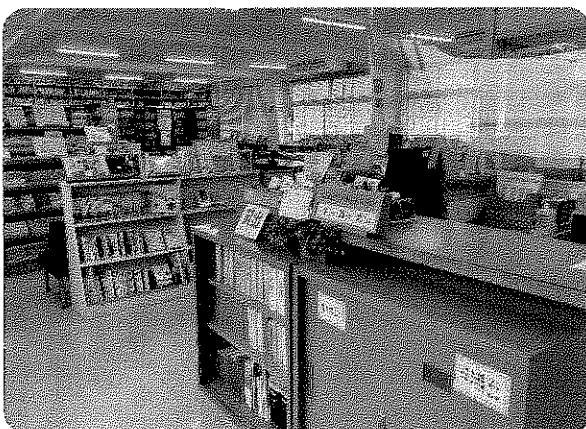
蔵書数…約一六、四〇〇冊
新聞…三誌
雑誌…十誌
検索・学習用パソコン…二台
座席数…三十六席
貸出冊数…一〇冊まで
貸出期間…二週間

白山高校図書館は二棟三階に位置し、クラスの教室と近いため、授業の間の休憩時間にも生徒が気軽に来館します。読書や勉強、電車待ち、

くつろぎの場所として利用されています。

学校図書館は、読書相談や生徒が本に親しむように取り組んでいます。六月に「梅雨の読書キャンペーン」、七月に「白山高校生に読んでほしい本」の冊子の発行、秋の読書週間に「図書委員のおすすめ本」の展示など行います。また、調べ学習などで、授業でも利用されています。

本校図書館の蔵書は、生徒を通じて保護者の方もご利用いただけます。ホームページにて、新着図書案内を掲載しておりますので、また、ご活用ください。



部活動の紹介



硬式野球部

私達白山高校野球部は、現在三年十二名、二年七名、一年七名、マネージャー四名の計三十名で日々の練習に励んでいます。

新チームとして臨んだ秋季三重県大会では、一回戦厳しい試合を粘って勝ち上がり、二回戦で夏の甲子園出場校である津田学園高校と対戦したのですが、投打ともに圧倒され、二回戦敗退という結果となりました。

悔しい思いを胸に、冬の間は、体づくりを中心に、守備・バッティングの基礎をしつかりと練習しました。校外へ出て階段や坂道を使ってトレーニングをしたり、君が野ダムへ行って走り込みをするなど、様々な方法で体を鍛え、一冬で大きく成長することができました。

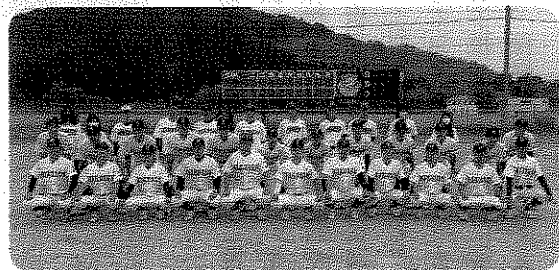
そして迎えた春季大会でしたが、地区予選の一次予選で上野、二次予選で津西に負けたことで、県大会出場を逃してしまいました。

チームでミーティングを重ね、夏の大会に向けてどんなチームにしたいのか、どこを目指すのかという

ことを確認する時間を取り、自分たちが持っている良さを生かしてもう一度、一から甲子園に行けるチームを作ろうと決めました。

現在、三重県大会頂点を目指して日々練習に励んでいます。練習が出来ることの喜びや仲間と白球を追う時間の尊さをかみしめながら、応援してくださっている方々への恩返しとして、今自分たちに来ることを精一杯打ち込み、応援してくれる全ての方に感動を与えられる試合が出来るよう頑張っていきます。

保護者やOBの方々、そして地域の皆様には、日頃から白山高校野球部の活動にご理解ご協力を賜り、部員、顧問一同、深く感謝いたしております。



高校野球に携わる者として、野球を通して、人としても大きく成長してもらいたいと願っています。最後の大会、チームの力を一つにして一戦必勝で勝ち進み、甲子園出場を果たせるよう頑張ります。今後とも、応援よろしくお願いいたします。

陸上競技部

本年度陸上競技部は、三年男子五名・二年男子一名・一年男子四名の計十名で活動をしています。

トラック種目は一〇〇m・二〇〇m、フィールド競技は砲丸投・円盤投・ハンマー投・走幅跳の種目で全員自己ベスト記録更新・東海大会出場・全国大会出場を目標に日々の練習を重ねています。

『陸上競技をするのは、目標を達成して自分が喜ぶと同時に、家族や仲間を喜ばせ、地域や学校に刺激を与えることが目的』という白山高校陸上競技部の活動方針のもと、今シーズンも頑張っています。四月には国スポ一次予選・南勢地区記録会に参加をしました。五月には高校春季大会もありました。砲丸投げ、円盤投げ、走り幅跳びについては入賞をねらって全力で取り組みました。結果は入賞

こそできませんでしたが、自己ベストを出す選手が多く出ました。部員たちは緊張しながらも練習の成果を発揮できたように感じています。

五月中旬の南勢地区記録会でも一年生の多くの選手が経験を積み、五月末の県総体に備えました。三重県内の陸上競技選手の多くが目標にする県総体には、三日間にわたり白山高校陸上競技部も全力で取り組みました。東海総体に出場するという目標までは、あと少し届きませんでした。本当に悔しい思いをしました。県大会では大会運営のお手伝いとして選手たちは補助員をします。選手たちは自主的に大会運営や出場選手のサポート・応援などを協力して動いてくれました。自己新を更新できた嬉しさと、あと一歩届かなかった記録に対する悔しさ、大会の運営を手伝い、みんなの役に立つことの大切さを経験することができた三日間でした。

この気持ちを大切に、シーズン後半の目標である県高校新人大会にぶつけてもらいたいと思います。

シーズン前半が終わり、冬期練習からの目標を達成できた者や、達成までもう少しというところで悔しさを感じた者、練習に対する意識がかわるきっかけを得た者、それぞれがモチベーションを高めるきっかけに

なつたと思います。これから陸上競技部の活動にご協力と温かい声援をよろしく願います。

今後の大会予定

三重県高校新人大会(四日市)

九月十九日(土)～二十日(日)

弓道部

弓道部は、三年生三名、二年生三名、一年生五名の計十一名で活動をしています。各種弓道大会への出場と、段位の取得を目指して日々練習しています。本校の弓道部員は全員が初心者です。外部指導の先生や上級生からの指導のほか、部員同士がお互いの射について助言し合うことなどを通じた技術の向上を目標としています。種目の特性として、弓を引く瞬間は自己と向き合うことになります。その一方で、団体戦においては他者と協力することも求められ、選手、応援の生徒を含めた部員全員で作りに上げた雰囲気、試合の結果に大きく影響します。

四月の春季大会と六月の三重県高校総体に向けては、部員それぞれが大会で達成したい目標を立てて日々の練習に取り組んでいました。これ

からも正射必中を目指した弓道部での活動を通して、主体的行動や他者貢献できる力を培っていきたいと考えています。

最後になりましたが、弓道部の活動につきまして、日頃よりご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

サッカー部

サッカー部は現在、男子部員二名で活動しています。

県総体には白子高校・石薬師高校との合同チームとして出場しましたが、初戦で松阪工業高校に敗れ、悔しい結果となりました。しかし、この経験を今後の成長につなげようと選手たちは新たな目標に向かって日々練習に励んでいます。

また、五月末から開催されている四部リーグ戦にも出場し、合同チームの中心選手として活躍しています。試合のない週には白子高校で合同練習を行い、技術の向上とチームワークの強化に努めています。

部員数の関係で白山高校単独での大会出場はありませんが、十月に開幕する全国高校サッカー選手権三重県大会に向けて、真剣に練習に取り

組んでいます。少人数ながらも目標に向かって努力を重ね、競技力の向上はもちろん、礼儀や感謝の気持ちを大切に、多くの方々に応援していただけるチームを目指して活動しています。

保護者の皆様には、日頃よりサッカー部の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。また、合同チームとして活動する中で、多くの先生方や関係者の皆様、OBの方々から温かいご支援とご声援をいただいております。部員・顧問一同、深く感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援とご声援をよろしくお願いいたします。

吹奏楽部

吹奏楽部は現在一年生二名で、月曜日から水曜日まで活動しています。人数は少ない分、音楽室を広く使うことで特定の楽器にとらわれることなく、純粋に音楽を楽しむことができているようです。

七月に行われる高校野球県大会の応援が大変心配されるところですが、OB・OGや顧問のサポートも最大限活用しつつ、とにかく現在は応援曲の反復練習に日々コツコツと励ん

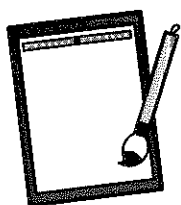
でいます。少数編成で音量が心配されますが、出来る限りの音を響かせるつもりです。

少人数の部活動は、ゆる～くアットホームな雰囲気の中で活動できるのが利点でもあります。ゆったりとした時間が流れる放課後の音楽室で、今日も各々がのんびりと自分のペースで楽器と向き合っています。

書道部

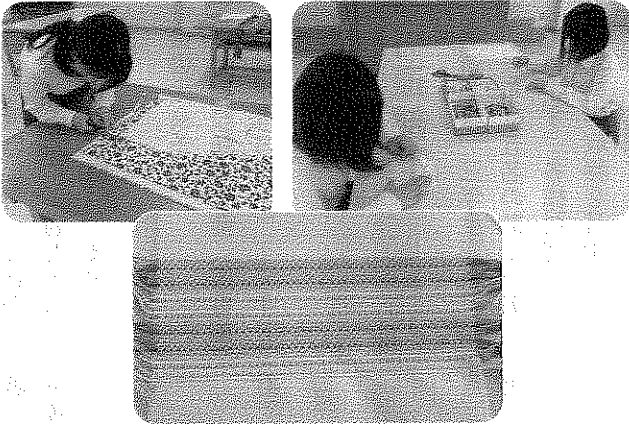
昨年度に三年生三名の部員が卒業して、しばらく部員ゼロの状況でしたが、今春一年生が一名入部して活動を始めています。活動は月曜と木曜の放課後で、月曜は外部講師として山口先生にご指導いただいています。

校内の文化祭に向けて練習に励むとともに、高文祭などの外部の展示会への出展にも前向きに取り組む予定です。校内文化祭の「書作展」を見ていただくのを励みに日々の練習を積み重ねたいと思っています。



家庭部

今年度家庭部は、二年生四名、一年生一名の計五名で、週に一回楽しく活動しています。昨年度から継続して活動している二年生三名は、現在「甚平（じんべい）」の製作に挑戦中です。小物から大型の作品になり、布の扱いや裁断、印付けに苦戦していますが、浴衣に比べて動きやすく、工夫次第で現代の部屋着や普段着としても楽しめる甚平は、「自分で作った服を実際に着られる」という大きなワクワク感があります。和裁の基礎を学び、日本の伝統文化の機能美



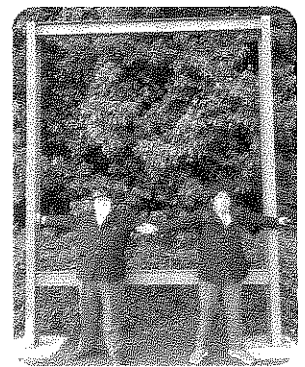
を肌で感じられる貴重な機会でもあり、苦勞が多い分、完成への意欲も一層高まっています。

一方、今年度から新しく加入した二名（二年生一名・一年生一名）が最初に挑戦しているのは「スウェーデン刺繍」です。専用の布地（スウェーデンクロス）の織目をすくって模様を作る刺繍です。好きな色の刺繍糸を使って刺繍をするので、色の組み合わせによって、それぞれの個性が表現された作品となることも魅力です。繊細で鮮やかな模様が仕上がっていくにつれ達成感も大きくなるようで、一針一針コツコツと進めています。刺繍が完成した後は、ミシンでティッシュケースに仕立てる予定です。

被服製作は、少し難しい工程もありますが、自分だけのオリジナル作品を作る楽しさを味わいながら、文化祭での展示に向けて少しずつ作品を増やしていけるよう、これからも励んでまいります。

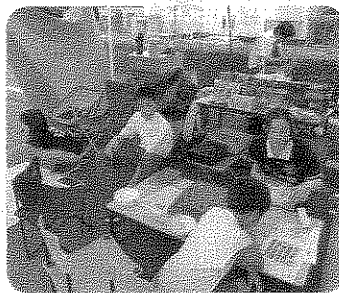
商業部

商業部は、平日の放課後に週一回の活動をしています。今年度は一年生が三名も入って新体制で頑張っている活動をしています。活動内容は、地



▲家城神社の大絵馬の枠組み

◀肉まつり



域のイベントに参加するために、自分たちでオリジナルのゲームを考えたり、

今までの先輩たちがクラブ・授業で考えたゲームを運営できるように練習したりしています。今年度も五月三十一日に白山総合文化センターで実施された肉まつりに出店をして、多くの小学生のお客様に喜んで頂きました。また、家城神社の前に年始に巨大絵馬が立てられるのですが、その枠組みの活用を、年間を通じて考えて、地域に何か貢献ができないかと会議を行っています。

地域のイベントに参加することも、絵馬の枠を活用することも、部活動を通じて少しずつ理解を深め、何がで

きるのかを考える途中で、成長ができると信じて、頑張っています。

数年前に購入した綿菓子機も、どんどん上手にできるようになってきましたので、また地域のイベントに出店をした際にはぜひお立ち寄りください。どうぞ応援よろしくお願いします。

茶道部

今年度は、一年生一名、二年生一名の合計二名で活動を始めました。二年生は昨年度学んだお点前を今年度更に上達できるよう、また一年生は先輩に教えてもらいながら、茶道の楽しさを感じられるよう、お稽古に励んでもらえたらと思っています。昨年度も地域の方とも触れあえる機会をいただき、いくつかのイベントにも参加できました。みんな日本文化の一つである茶道に興味を持ち、一生懸命お稽古に取り組んでいます。茶道の活動を通じ、地域の方々とあれあうことは、一人ひとりが成長できる、とてもよい機会です。今後とも、よろしくお願いいたします。

